

令和8年度 みどり小学校「豊かな心」育成プログラム

他者を思いやる心 生命を尊重する心 自然や美しいものに感動する心

学校番号：25016

「豊かな心」	
これまでの 成果	課題
◇児童のアンケートでは、「友達のよいところに気付き、進んで一緒に活動しようとしているか。」という質問に対し、肯定的な回答が多かった。学校生活全体において、子ども同士の関わりへの評価は高い。日常の前向きな人間関係づくりを今後も大切にしていこう。	◇児童のアンケートから、「学級での係活動や当番活動を、友達とがんばることができているか。」という質問に対し、肯定的に捉えている子が多くいることが分かった。ただ、道徳性や社会性が育まれるような「特別活動」のあり方としては、改善の余地がある。
「豊かな心」の基盤〈よりよく生きるための基盤となる道徳性〉の現状と課題	
◇札幌市の共通指標の 人間尊重 に関する項目において、児童のアンケートでは「自分にはよさがあり、自分は大切にされていると感じて、学校で過ごすことができているか。」という質問に対し、中間評価よりも年度末評価で肯定的な回答が増えてきた。教職員が意図的に、児童のよさを見取り、認める声掛けをしてきた成果が表れている。一人一人の声を聴き、引継と情報共有を大切にしながら、人間尊重の教育を推進していく。	

「豊かな心」の育成のために着目する資質

子どもが互いを尊重し、支え合い、よりよく生きようとする態度

目指す子ども像と具体的な取組	道徳教育の推進	教育活動全体を通じて	特別活動の充実
	<p>日常や未来につながる道徳</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇安心してみんなが話せる土台を作る。 (※学ぶ力育成部との連携) ・教材を通して仮の経験をする。 →実体験と結び付けて考える。 ◇自分のよいところを見付ける。 →振り返りの場面など、子ども同士がお互いに認め合う姿を目指す。 ◇日常生活の中でも子ども同士が認め合う場面を設定する。 →係活動や当番活動でのつながり 帰りの会等での振り返り 	<p>「縦のつながり」を生かした活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇全校朝会の場で ・教師の目から見た、丁寧に取り組んでいる様子や素敵な姿を伝えていく。 ・委員会での取組を発表する場としても活用していく。 ◇「みどりステージフェスタ」の場で ・上の学年の姿を見て、憧れる気持ちや「次は自分もやってみたい。」という意欲を高める。 ・児童観覧日でお互いの学年の発表を見合い、頑張りを認め合う。→交流カードの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ふれあい活動 ・初めは6年生がお手本となって、遊びの計画や進行をする。後半にかけて、5年生・4年生へと役割をバトンタッチしていく。 ◇委員会活動・クラブ活動 ・「人の役に立っている。」と実感できる取組を考え、自分から行動する意識を高める。 ・異学年と一緒に活動することで、上級生から下級生へ教える態度を育む。 ◇係活動 ・低学年のうちから係活動に取り組むことで、友達と関わり合い、学級の皆のために主体的に活動する経験を積み上げる。